



道徳授業地区公開講座の授業を実施しました

本日5校時に、全学級で道徳授業地区公開講座の授業を行いました。今年度は、残念ながら保護者の皆様に参観していただくことができませんでしたので、今日の授業を通して、子どもたちに考えてほしいことをお伝えします。御家庭でも、本日の授業についてのお話をしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

なお、授業の様子を、近日中に、ホームページに掲載しますので御覧ください。

1 主題名 わかり合う心 （相互理解、寛容）

2 ねらい

自分と異なる意見であっても、相手の言葉に耳を傾け、言葉の裏側にある思いに気づき、相手を理解して行動していこうとする判断力を育てる。

教材「みんなの学級会」のあらすじ

転校する友達「ともき」のお別れ会についての話し合いから始まる。同じクラスの「ゆみ」はグループの出し物を行うお別れ会を提案し、「けいすけ」は「ともき」が好きなサッカーをみんなですることを提案し、2人の意見が分かれてしまう。

■御家庭で話題にしていきたいこと

中学年の段階においては、「自分の意見にこだわる傾向」が見られ、それを受け入れようとしない相手とは衝突してしまうことがあります。そのため、自分の考えや意見とは異なる相手への理解を深め、自分も更に相手からの理解が得られるように思いを伝える「相互理解の大切さ」に気付かせることが大切です。

学校生活での様子を見てみると、自分とは異なる見方や考え方、感じ方をしていいる相手に対して感情的になり、言い合いになってしまうことがあります。学校でも道徳科の授業だけではなく、学校生活全体を通して指導しています。

御家庭でも、今回の教材を基に「相互理解の大切さ」をお話していただけると幸いです。よろしくお願いたします。